

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月9日

【四半期会計期間】 第95期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 ミヨシ油脂株式会社

【英訳名】 Miyoshi Oil & Fat Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 三 木 逸 郎

【本店の所在の場所】 東京都葛飾区堀切四丁目66番1号

【電話番号】 03(3603)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理財務部長 小田島 淳 悦

【最寄りの連絡場所】 東京都葛飾区堀切四丁目66番1号

【電話番号】 03(3603)1149

【事務連絡者氏名】 執行役員経理財務部長 小田島 淳 悦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第94期 第3四半期 連結累計期間	第95期 第3四半期 連結累計期間	第94期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (百万円)	33,205	31,817	44,941
経常利益 (百万円)	1,054	988	1,418
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,089	679	1,306
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	763	59	1,560
純資産額 (百万円)	24,086	24,411	24,883
総資産額 (百万円)	49,512	48,365	52,477
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	106.56	66.41	127.77
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	48.6	50.4	47.4

回次	第94期 第3四半期 連結会計期間	第95期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	17.17	3.03

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。これに伴い、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、当該信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」から重要な変更又は新たな発生はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大は、今後の経過によっては、当社グループの事業活動および収益確保に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）における我が国経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の大幅な減少や景気の先行き不透明感の高まりを受けて、厳しい状況で推移しました。

当油脂加工業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う巣ごもり消費により、生活必需品の需要は堅調に推移しておりますが、外出自粛等の影響による外食産業等のサービス消費の需要が依然として落ち込んでおり、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、オンラインでの営業活動や各種展示会を通じた製品の拡販に取り組むとともに、お客様の声や市場ニーズに合わせた製品の開発等を推し進めました。

この結果、売上高は31,817百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は771百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益は988百万円（前年同期比6.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は679百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

食品事業

食品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、主要取引先である製パン市場や学校給食、外食産業、お土産関連の需要が減少しました。そのため主力製品のマーガリン・ショートニングの売上が伸びず苦戦しました。更に、巣ごもり需要で伸びた即席麺やスナック菓子、レトルト食品関連の需要も夏場には減速し、新製品の拡販や新規顧客の開拓にも注力しましたが、非常に厳しい状況で推移しました。

その結果、売上高は21,454百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失は5百万円（前年同期は営業利益84百万円）となりました。

油化事業

工業用油脂製品につきましては、主要需要先である合成樹脂、界面活性剤、塗料、ゴム、トイレットリー、潤滑油等の業界が新型コロナウイルス感染症の影響により低調に推移したことから、脂肪酸の販売が減少しました。

界面活性剤製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤が国内市場および中国市場において堅調に推移しました。香粧品分野のクレンジング市場はテレワークやマスク着用の影響で市場が縮小しましたが、巣ごもり需要によりトイレットリーやシャンプー・コンディショナー市場の洗浄系原料基材が堅調に推移しました。環境関連分野においては、海外向けの重金属処理剤が世界的な自動車産業の操業低下により低調に推移しました。

その結果、売上高は10,243百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は738百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

また、当第3四半期連結会計期間における財政状態の概況は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,111百万円減の48,365百万円となりました。主な減少は受取手形及び売掛金2,630百万円、現金及び預金1,212百万円、投資有価証券925百万円であり、主な増加は機械装置及び運搬具(純額)410百万円であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ3,639百万円減の23,953百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金1,779百万円、借入金556百万円、未払法人税等450百万円、電子記録債務399百万円、流動負債のその他292百万円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ471百万円減の24,411百万円となりました。主な減少は其他有価証券評価差額金718百万円であり、主な増加は利益剰余金267百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の47.4%から50.4%に増加しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1,041百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、国内人口の減少等により需要が低迷するなか、流通大手の低価格志向による競争の激化と油脂原料をはじめとする各種原材料価格の変動等が懸念され、厳しい状況で推移すると思われま

す。
このような事業環境において当社グループは、「中期経営計画(2019~2021年)」を策定し、食品事業においては、これからの時代の「おいしさ」と「健康」に貢献するために、油化事業においては、未来に誇れる安心な生活環境を創造するために、それぞれの領域において各種テーマに取り組み、食品事業と油化事業を二本柱とする強固な経営基盤の構築に努めて参ります。

(5) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は収益性の向上を重点課題とし、そのために事業の最適化の実行および付加価値の高い事業領域へのシフト、さらに新規事業の開拓を力強く推し進めて参ります。

メーカーにとって技術革新が重要であることを認識しつつ、お客様のニーズにお応えする製品やサービスを提供することで、強固な経営を推進して参ります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	29,897,100
計	29,897,100

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,306,895	10,306,895	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	10,306,895	10,306,895		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年9月30日		10,306		9,015		5,492

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2020年6月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,200		
	(相互保有株式) 普通株式 10,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,276,200	102,762	
単元未満株式	普通株式 14,895		
発行済株式総数	10,306,895		
総株主の議決権		102,762	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式が500株(議決権5個)含まれております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」の中には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式72,100株(議決権721個)を含めております。
- 3 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式42株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ミヨシ油脂株式会社	東京都葛飾区堀切 4丁目66番1号	5,200		5,200	0.05
(相互保有株式) 日本タンクターミナル 株式会社	千葉県美浜区新港 2番地の1	10,600		10,600	0.10
計		15,800		15,800	0.15

(注) 役員報酬BIP信託が保有する当社株式は、上記自己保有株式に含まれておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役 執行役員食品本部長	取締役 執行役員食品本部長 兼技術統括	石 黒 隆	2020年4月1日
取締役 執行役員食品本部 副本部長	取締役 執行役員食品本部 営業統括	松 室 貞 夫	2020年6月1日
取締役 執行役員油化本部 営業統括 兼業務部長	取締役 執行役員油化本部 営業統括 兼企画業務部長	竹 下 昇 一	2020年4月1日
取締役 執行役員油化本部 副本部長 兼営業統括 兼業務部長	取締役 執行役員油化本部 営業統括 兼業務部長		2020年6月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,227	5,014
受取手形及び売掛金	1 11,801	9,171
電子記録債権	1 1,537	1,358
商品及び製品	2,454	2,368
仕掛品	573	647
原材料及び貯蔵品	2,172	2,269
その他	242	331
貸倒引当金	97	105
流動資産合計	24,911	21,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,263	4,151
機械装置及び運搬具（純額）	4,553	4,963
土地	5,315	5,456
その他（純額）	875	1,003
有形固定資産合計	15,007	15,574
無形固定資産		
その他	291	321
無形固定資産合計	291	321
投資その他の資産		
投資有価証券	9,185	8,260
退職給付に係る資産	2,888	2,957
その他	217	219
貸倒引当金	24	24
投資その他の資産合計	12,267	11,412
固定資産合計	27,565	27,309
資産合計	52,477	48,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 8,553	6,773
電子記録債務	1 960	561
短期借入金	3,925	3,925
1年内返済予定の長期借入金	2,736	2,721
未払法人税等	468	18
その他の引当金	10	24
その他	1 2,672	2,380
流動負債合計	19,326	16,403
固定負債		
長期借入金	3,890	3,349
退職給付に係る負債	2,384	2,398
役員退職慰労引当金	89	62
役員株式給付引当金	34	42
その他	1,868	1,697
固定負債合計	8,267	7,549
負債合計	27,593	23,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	6,993	7,260
自己株式	124	124
株主資本合計	21,375	21,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,781	2,063
退職給付に係る調整累計額	706	683
その他の包括利益累計額合計	3,488	2,747
非支配株主持分	20	22
純資産合計	24,883	24,411
負債純資産合計	52,477	48,365

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	33,205	31,817
売上原価	27,606	26,375
売上総利益	5,599	5,441
販売費及び一般管理費	4,750	4,670
営業利益	848	771
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	179	186
持分法による投資利益	42	55
その他	105	71
営業外収益合計	328	315
営業外費用		
支払利息	91	80
その他	30	18
営業外費用合計	122	98
経常利益	1,054	988
特別利益		
有形固定資産売却益	541	-
特別利益合計	541	-
特別損失		
有形固定資産除却損	38	56
関係会社株式評価損	19	-
特別損失合計	58	56
税金等調整前四半期純利益	1,537	931
法人税、住民税及び事業税	314	160
法人税等調整額	137	90
法人税等合計	451	250
四半期純利益	1,085	681
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,089	679

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,085	681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	301	718
退職給付に係る調整額	21	22
その他の包括利益合計	322	741
四半期包括利益	763	59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	767	61
非支配株主に係る四半期包括利益	3	2

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理は、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形	99百万円	百万円
電子記録債権	99	
支払手形	6	
電子記録債務	288	
その他(設備関係電子記録債務)	172	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	1,229百万円	1,241百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	411	40	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

(注) 2019年3月27日定時株主総会の決議による配当金の総額には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式に対する配当金2百万円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	411	40	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金

(注) 2020年3月26日定時株主総会の決議による配当金の総額には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式に対する配当金2百万円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,167	10,920	33,087	117	33,205		33,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94		94	107	202	202	
計	22,262	10,920	33,182	225	33,407	202	33,205
セグメント利益	84	715	799	48	848		848

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,454	10,243	31,697	119	31,817		31,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	35	126	107	234	234	
計	21,545	10,278	31,824	226	32,051	234	31,817
セグメント利益 又はセグメント損失()	5	738	732	38	771		771

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	106円56銭	66円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,089	679
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,089	679
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,225	10,224

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2 役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、当第3四半期連結累計期間において信託が保有する期中平均自己株式数は72千株であり、前第3四半期連結累計期間において信託が保有する期中平均自己株式数は72千株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月6日

ミヨシ油脂株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	定	留	尚	之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山	村	竜	平	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミヨシ油脂株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミヨシ油脂株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。